

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	・その人らしく暮らし続けるため、グループホームの中だけで過ごさずに、天気や体調、一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、個別での外出支援を行い、心身の活性につながるよう支援していく。	・一人ひとりが出かける事で喜びや楽しみを感じ、大切な人や地域との関係を継続することができる。	・その日の天気や入居者の体調に合わせ、散歩やドライブ等の外出支援を行い、季節を感じて頂く。 ・地域行事(秋祭り、敬老会、産業祭り等)や、さくらんぼ狩り、買い物等へ出かけ、馴染みの人や懐かしい場所との関係が継続できるよう支援する。 ・歩行困難な方も本人に合わせた移動に配慮しながら、外出支援を行う。	12か月
2	40	・日常生活の中で、ほとんどの方が楽しみにしている「食」が食欲や栄養を満たすだけでなく、喜びや楽しみとなり、いつまでも美味しく食べることが出来るよう工夫していく。 ・食事中にむせたり、飲み込みが悪くなり普通の食事が食べられない方にも栄養補給だけを考えず、体調や食べるタイミング、介助の方法や食器等の工夫を行い、食が進むよう一人ひとりにあった支援をしていく。	・一人ひとりが最期まで好みの物、馴染みの物、本人にとって美味しい物を楽しく安全に食べる事ができる。	・畑の野菜や旬の食材を採り入れ、入居者の好みの物や苦手な物を踏まえたメニューを提供する。 ・一緒に串もちを買いに行く。また、一緒になべこ団子を作る等、一緒に楽しみながら大好きな物を食べる機会を増やして行く。 ・一人ひとりの習慣や能力に合わせ、食事の声掛けや見守り、必要に応じて介助を行う。 ・一人ひとりのその時点での状態に合わせ、食事形態・食器の大きさ、重さ等を工夫する。 ・食事前の嚥下体操(あいうべ体操等)と食後の口腔ケアを継続する。	12か月
3					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。